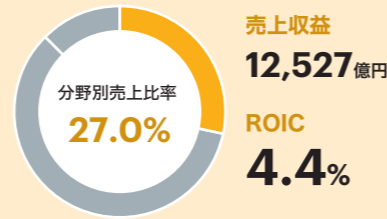


- 3 1章 MCGグループがめざす姿
- 22 2章 持続的な成長戦略
- 56 3章 ESGの強化
- 95 4章 財務・非財務情報
- 96 11年財務サマリー
- 97 財務／非財務ハイライト
- 101 分野別事業概況|サマリー
- 103 分野別事業概況|セグメント別実績**
- 105 株主情報
- 106 連結財務諸表
- 112 非財務情報
 - 環境性データ/社会性データ
 - 独立した第三者保証報告書

分野別事業概況 | セグメント別実績①

機能商品分野



機能商品セグメント

売上収益は1兆2,527億円(対前期1,164億円増)となり、コア営業利益は515億円(同272億円減)となりました。

ポリマーズ&コンパウンズサブセグメントの売上収益は、自動車用途を中心に販売数量が減少したものの、原料価格上昇に伴い販売価格への転嫁を推し進めたことや為替の影響等により増加しました。

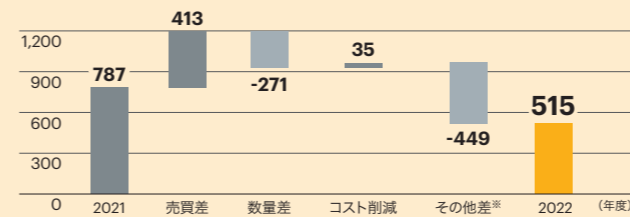
フィルムズ&モールディングマテリアルズサブセグメントの売上収益は、前期にアルミナ繊維事業を譲渡したことに加えディスプレイ用途の急激な需要減退による減少があるものの、原料価格

上昇に伴う販売価格の是正や為替の影響等により増加しました。

アドバンストソリューションズサブセグメントの売上収益は、ディスプレイ用途を中心に販売数量が減少したものの、原料価格上昇に伴う販売価格の是正および為替の影響等により、増加しました。

当セグメントのコア営業利益は、原料価格上昇の影響等がある中で価格転嫁を推し進めたものの、ディスプレイ用途をはじめとして総じて需要が減退したことやインフレを背景とした費用の増加等により減少しました。

機能商品 コア営業利益増減要因 (億円)



* その他差には、在庫評価損益・持分法投資損益差などの金額が含まれています

ポリマーズ&コンパウンズ

さまざまな素材の付加価値を向上し、高機能材料を世界に供給しています。

- 機能性樹脂
- ポリカーボネート
- コーティング材 ほか



コーティング材「アクリキング」

フィルムズ&モールディングマテリアルズ

多様な成形加工技術を駆使し、用途に適した製品を提供しています。

- パッケージング(食品包装材)、工業フィルム
- ポリエステルフィルム
- 高機能エンジニアリングプラスチック
- 炭素繊維・複合材料 ほか



共押出多層フィルム「ダイアミロン」

アドバンストソリューションズ

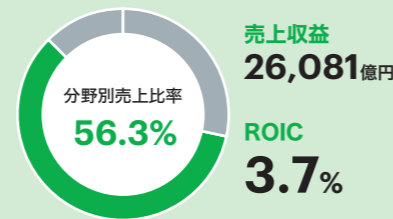
先進的な製品・技術、ビジネスモデル、アイデアで、社会が求める価値に新しい答えを提供しています。

- アクアソリューション
- ライフソリューション
- 半導体・エレクトロニクス
- 電池材料 ほか



半導体関連材料

素材分野



ケミカルズセグメント

売上収益は1兆4,302億円(対前期1,423億円増)となり、コア営業利益は92億円(同930億円減)となりました。

MMAサブセグメントの売上収益は、為替の影響等による増加はあるものの、需要の減退に伴う販売数量の減少やMMAモノマー等の販売価格下落により減少しました。

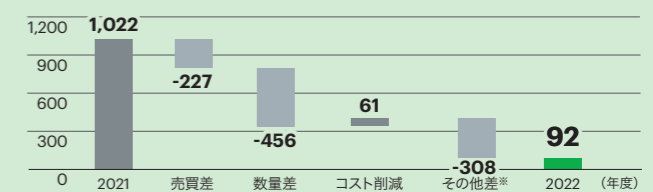
石化サブセグメントの売上収益は、需要の減退やエチレンセンターの定期修理の影響拡大等により販売数量が減少したものの、原燃料価格の上昇等に伴う販売価格上昇により増加しました。

炭素サブセグメントの売上収益は、需要の減退により販売数量が減少したものの、原燃料価格の上昇等に伴うコークスの販売価格上昇により増加しました。

当セグメントのコア営業利益は、需要の減退等により販売数

量が減少したことに加え、総じて原料と製品の価格差が縮小したことや、在庫評価益が縮小したことに等より減少しました。

ケミカルズ コア営業利益増減要因 (億円)



* その他差には、在庫評価損益・持分法投資損益差などの金額が含まれています

3 1章 MCGグループがめざす姿

22 2章 持続的な成長戦略

56 3章 ESGの強化

95 4章 財務・非財務情報

96 11年財務サマリー

97 財務/非財務ハイライト

101 分野別事業概況|サマリー

103 分野別事業概況|セグメント別実績

105 株主情報

106 連結財務諸表

112 非財務情報

- 環境性データ/社会性データ
- 独立した第三者保証報告書

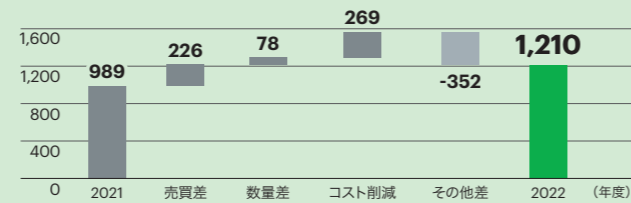
分野別事業概況 | セグメント別実績②

産業ガスセグメント

売上収益は1兆1,779億円(対前期2,278億円増)となり、コア営業利益は1,210億円(同221億円増)となりました。

当セグメントの売上収益並びにコア営業利益は、国内外の需要が堅調に推移したことによる数量増加に加え、燃料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や為替の影響等により、増加しました。

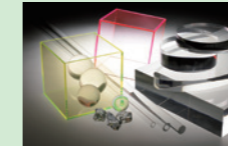
産業ガス コア営業利益増減要因 (億円)



MMA

MMAの主要3製法を有し、MMAとその誘導品のアクリル樹脂をグローバルに供給しています。

- MMA
- PMMA



PMMAアクリル樹脂板

石化

国内にエチレンプラントを有し、石化原料の安定供給、並びに高機能なポリオレフィンを提供しています。

- 石化原料・基礎化学品
- ポリオレフィン



エチレンプラント

炭素

優れた原料炭配合技術と品質管理技術をもとに、国内外へ安定供給しています。

- コークス
- カーボンブラック
- 炭素材
- 合成ゴム



コークス

産業ガス

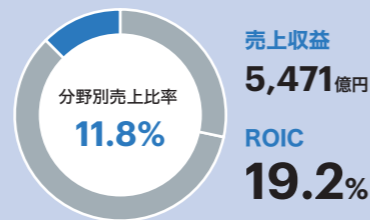
国内トップシェアを有し、日米欧亜のグローバルな供給体制を構築しています。

- 産業ガス
- 産業ガス関連機器・装置



産業ガス事業

ヘルスケア分野



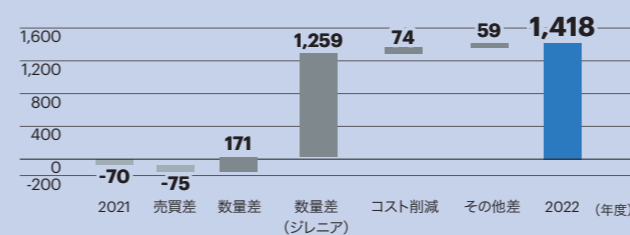
ヘルスケアセグメント

売上収益は5,471億円(対前期1,435億円増)となり、コア営業利益は1,418億円(同1,488億円増)となりました。

当セグメントの売上収益並びにコア営業利益は、国内医療用医薬品で薬価改定等の影響を受けたものの、国内重点品や米国で

2022年6月に発売した筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬「ラジカヴァ ORS」の販売が順調に推移したことに加え、Novartis Pharma AGに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入※等により、増加しました。

ヘルスケア コア営業利益増減要因 (億円)



※ 2019年2月に仲裁手続きに入ったため、ロイヤリティ収入の一部についてIFRS第15号に従い売上収益の認識を行っていませんでしたが、2023年2月に仲裁廷より本件契約の規定は全部有効であるとの判断がなされた結果、売上収益1,259億円を当連結会計年度の第4四半期連結会計期間に認識しました。

ファーマ

アンメット・メディカル・ニーズが残る領域でプレジジョンメディスンとアラウンドピルソリューションを展開しています。

- 中枢神経
- 免疫炎症
- 糖尿病・腎
- がん



バイオ医薬品

直前に見ていたページに戻る